

～夏の特別ラボ研修～

毎年この時期は、2泊3日で蒜山研修を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とし、代替行事として2日間の「夏の特別ラボ研修」を実施しました。フィールド活動に必要な観察法を習得し、これからの課題研究のテーマに広がりをもたせるために、化学・生物・情報などの分野において研修を行い、各分野の理解を深めました。

1. 期 日 令和4年7月29日（金）

場 所 岡山県立倉敷天城高等学校

情報の集中講義において、「知的財産」「情報セキュリティ」の内容について学習しました。今後、課題研究を進めるうえで大切な知識を身に付けました。また、Pythonの演習を行いました。午後からは、本校の卒業生である、大阪公立大学 人工光合成研究センターの中菌孝志先生を講師としてお迎えし、「人工光合成について」ご講演を頂きました。



情報の集中講義



講義の様子（リモート）



活発な質問の様子

2. 期 日 令和4年7月30日（土）

場 所 岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県倉敷市大畠周辺

2日目は、午前中に情報の集中講義を行いました。「データの分析」「マスコミュニケーション」「ユニバーサルデザイン」について学びました。午後からは、瀬戸内海（児島地区）に移動し、生物調査を行い、固着生物による水質の判定をしました。講師に洲脇清先生をお迎えし、瀬戸内海の歴史について説明して頂き、環境問題についても学習しました。身近な海を直接、観察することによって、どのような環境になっているのか知りました。お互いの調査結果を発表しあい、海岸研修を終了しました。

